

一戸&横浜 花の交流・オンラインイベントを開催します！

再エネ連携協定を締結した岩手県一戸町との交流事業の一環として、**横浜のバラ**と**一戸町のフジ**の苗を交換し、子どもたちが植樹するイベントを開催します。

国が提唱する「地域循環共生圏^{※1}」の考え方にに基づき、平成31年2月6日に、横浜市と一戸町は脱炭素社会の実現を目的とした再生可能エネルギーに関する連携協定を締結しました。

その協定をきっかけに実施する本イベントは、横浜を代表するバラの「はまみらい」及び「ローズヨコハマ」と、一戸町の「藤島のフジ」周辺で採取した苗を交換し、それぞれの子どもたちが植樹することを通じ、重要な地域資源である花を通じた交流をスタートします。

はまみらい：横浜開港150周年を記念して選定されたバラ

ローズヨコハマ：横浜ばら会創立50周年を記念してつくられたバラ

藤島のフジ：樹齢は数百年以上と推測され、根元の周囲3.3メートル、国内有数のフジとして国の天然記念物に指定

※1) 地域循環共生圏：各地域がその特性に応じた地域資源を生かし、自立・分散型の社会を形成しつつ、近隣地域と地域資源を補完し支え合うことで、地域を活性化させるための考え方。第五次環境基本計画（2018年4月閣議決定）にて提唱。

1 オンラインイベントについて

(1) 日時

11月18日（水） 15時30分～16時30分

(2) 会場

横浜国際ビル1階駐車場 中区尾上町3-29

(3) 横浜市側出席者（予定）

関内まちづくり振興会、関内地区の小学生、横浜市地球温暖化対策推進協議会、横浜市温暖化対策統括本部（企画調整部担当部長 沼田正樹）

(4) 一戸町側出席者（予定）

一戸町総務部まちづくり課、地域おこし協力隊、小鳥谷地区公民館
一戸町小鳥谷地域の小学生

(5) 概要

ア 一戸町、横浜市挨拶

イ 苗の贈呈、植栽

ウ 参加者コメント（各地域の小学生の代表他）

2 参考

本事業は、一戸町が総務省から受託した「関係人口創出・拡大事業^{※2}」モデル事業の一環で行うものです。

本事業の総合コーディネートを特定非営利活動法人仕事人倶楽部が一戸町から受託し、横浜市側の実務を横浜市地球温暖化対策推進協議会が担っています。フジの苗は、推進協議会との相互会員である「関内まちづくり振興会」が受領します。

※2) 関係人口創出・拡大事業について

移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、特定の地域や地域の人々と継続的に多様な形で関わる者である「関係人口」の創出を図るため、総務省により平成30年度から実施されている事業。

お問合せ先

【連携協定について】横浜市温暖化対策統括本部調整課企画担当課長 池上 武史 Tel 045-671-4108

【関係人口創出・拡大事業について】岩手県一戸町総務部まちづくり課 主査 来田 忍 Tel 0195-33-2111

【オンラインイベントについて】横浜市地球温暖化対策推進協議会 事務局長 佐藤 一子 Tel 045-681-9910

【参考資料】

○連携協定について

《連携協定の対象分野》

- (1) 再生可能エネルギーの創出・導入・利用拡大に関すること
- (2) 脱炭素化の推進を通じた住民・地域企業主体の相互の地域活力の創出に関すること
- (3) 再生可能エネルギー及び地域循環共生圏の構築に係る国等への政策提言に関すること

《連携締結市町村》

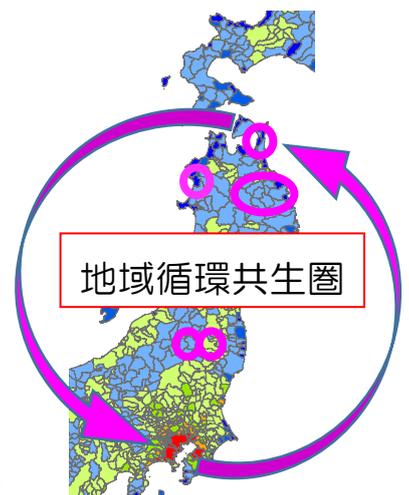
- ・青森県横浜町
- ・岩手県北広域振興局対象自治体等（9市町村）
（久慈市、二戸市、葛巻町、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町）
- ・秋田県八峰町
- ・福島県会津若松市
- ・福島県郡山市

《連携のイメージ》

横浜市…市内（市民、事業者、公共施設等）における再生可能エネルギーの利用拡大
各市町村…再生可能エネルギーの供給・拡大



※ポテンシャルは全ての制約条件が解決された時の値



地図出典：平成27年環境白書